

彼岸＝正しい道

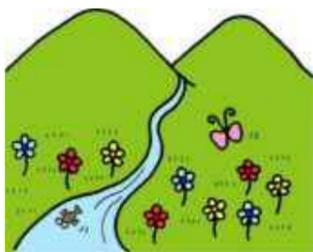
ようやく春の季節を迎えます。今年の冬は、二十年ぶりの豪雪となり、北陸、四国地方の村では、生活道路が雪で閉ざされ、人々に辛い生活を負うことになりました。被害に遭われた方々には衷心よりお見舞い申し上げます。

もうすぐ春の彼岸です。彼岸のことを「正しい道を進む」という意味があります。今日までに不幸な出来事が世界中に起こっています。イスラム国のテロ事件、国内では、少年殺傷事件、詐欺などの特殊事件があります。このように悪い道を進めば、善と悪を見極め、彼岸で正しい道に修正することができません。これは、人間の持つ交通安全週間のようなものであります。

悪い道とは、欲望のままに生きることなのです。だから、御釈迦様は、「何事でもほどほどに生きなさい。普通に生きなさい。」と説いておられるのです。これを「中道」といいます。この世は享楽と苦行の繰り返しです。人々は、皆、贅沢な暮らしや楽な暮らしをしたいものです。

普通に生きるということは何も望まない、ありのままに生きることなのです。両極端を充分に見極めてこそ初めて正しい道が出てくるのです。

偏らない心のバランスが取れた生き方こそが、ゆつたりとして、あせらず、騒がず、欲しがらず、愚痴をこぼさず、一度きりの人生をゆつたりと歩いて、人間らしく生きていただきたいと願うのであります。



仏教Q&A

問い お経は誰のために唱えるのですか。

(答え)

仏をお祈りする。先祖様や亡くなった方の冥福を祈ります。お経を聞くことは、今を生きている人々が救われることを願います。今ここにいる人が救われます。

問い 家の仏壇に何のお経を読めばいいの。

(答え)

「般若心経」でいいです。この経は、御釈迦様の真髓が説かれていますので、心が落ち着き、生きる勇気がふつふつ湧いてきます。

問い 回向にはどんな意味があるの。

(答え)

回向は、「普回向ふえこう」といって、生きとし生けるものすべて、仏道修行に励み、その功德は積み、迷える心を滅して、皆が救われます。そして釈尊の悟りの境地に到り、心安らかな人生を送ります。お経を聞くという行為は、本当の智慧に出会い、幸せに暮らせるように願うための行いなのです。

問い 塔婆とはなんですか。

(答え)

塔婆は古代インドの梵語(サンスクリット語)ストウーバといい、貴人を埋葬するための道具です。

釈尊入滅後、その後遺骨(佛舍利)を8か所に埋葬し、それぞれ塔を建てた伝えられています。故人の冥福を祈り、その追善菩提のために建てる塔婆ですから、年忌法要の時、春秋の彼岸、お盆施餓鬼、その他ご先祖のお墓前に格別のご報告などの場合に建てるのです。塔婆は、仏様のお姿を象徴したものですから、塔婆を一基建てれば、仏像を一体作ったことと同じことです。

その塔婆に僧侶のお経を唱えおわると、先祖の

お墓に建てることで、先祖の霊が安らかに往生できるといふ深い尊い意味が込められています。

建てた施主の御心が、遠い先祖にまで喜ばれ、また施主、その家族、親戚の罪障を消滅し、福德を招くものとして塔婆を使用します。

問い なぜ、お墓に水をかけるの。

(答え)

水は清浄なものであり、お墓の汚れを、心の汚れを清めるものです。また死者の渴きをいやすものであり、水鉢に水を満たすのは、故人と墓参者を結ぶいのちの水をたたえるためのものです。

お墓詣り

ご先祖様の冥福祈るとともに、自分が今生かされていふことを感謝して、亡くなった方の恩に報いることを誓うことのあらわれです。

故人の霊に語りかけるように、霊が安らかになるよう祈ります。お墓参りをするという善行は、人々の幸せ、子孫長久の礎となり、ひいては世界の平和をもたらすこととなります。



四月の予定

法華千部会

日時 四月六日(月) 十二時半

※お練り、音楽法要には感動を受けることができます。

毎年、供養袋(五百円)、霊名札(一枚二百円)で、必ず、自分の身の安全につながり、穏やかに日々と世界の平和を祈ることが出来ますので、勸進くださいますようよろしくお願い致します。

暮らしの豆知識

健康の薬

花は美しい、森の中は空気が良い。海の潮風は身体を洗ってくれる。旅に出て人々と語り、笑い、歌い、土の上を踏んで歩く。清水を口にすると「うまい」どんなささやかなことでもぜんぶ健康の薬になる。

善光寺御開帳参拝・善光寺大勸進天台真盛宗法要密蔵院参拝
4月14日(火)～15日(水)
参加費 39,000円
詳しくはおたずねください。

お願い
後期の定式割を役員さんより集めさせていただきますので、出費多端の折恐縮ですが、よろしくお願ひします。



第四回法話会

四月十九日(日)午前八時半～九時

場所 玉泉寺本堂

仏の教えを聞いてみませんか。
※今年から毎月開催しています。五月以降はおたずねください。

発行

高島市安曇川町田中三四五九玉泉寺 木村哲基
電話 (0740) 331-0791
携帯 090-3708-7206
メール svka37375@letto.eonet.ne.jp
「天台真盛宗玉泉寺」のホームページに就職日記を更新しています。